

平成22年 10月分

小瀬川出張所管内	村本 さん
観察月日	連絡事項等
10月11日	<p>・今月末～山陽本線に平行して走っている、昔の鉄橋の撤去工事が始まることになった。大竹側の工事場所近くは、絶滅危惧種であるハクセンシオマネキ等の生息する、小瀬川では数少ない場所。 何とか救って欲しいと河川事務所へ申し入れていた。この日、四者(国交省担当者、環境調査会社、工事会社員と小生)にて、現地を確認。工事施工場所をこの位置から避けることで解決となった。今後も夏にはカニ達のウェービングが見られます。感謝します。</p>
10月22日	<p>・この秋初めてヒドリガモが10羽、和木側鉄橋上流に戻っているのを発見。今月初めよりマガモは2つがい、留鳥のカルガモは20羽近くが入っており、冬の使用者が段々と増えて賑やかになってきた。今後どの位になるか楽しみ。(写真-1、2)</p> <p>・松ヶ枝橋の階段上部にある「私の一言案内板」、ヒビ割れがひどく見づらい。機会をみて取替えが必要。(写真-3)</p> <p>・大竹側中市堰上流の遊歩道、草が多いが生き物にはよい棲家。花が沢山咲き、真っ赤なショウジョウトンボも見られる。(写真-4)</p> <p>・3. 2Kポイント上流の堤防に一部ズレとヒビ割れの部分あり。機会を見て補修の必要がありそう。(写真-5)</p> <p>・3. 6Kポイント下流には、今回もゴミが捨てられている。付近を掃除し、集めたものかも知れませんが。(写真-6)</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p>写真-1 この秋初めてのヒドリガモ</p>  <p>写真-2 マガモのつがい</p> 

写真-3 松ヶ枝橋階段上部の案内板

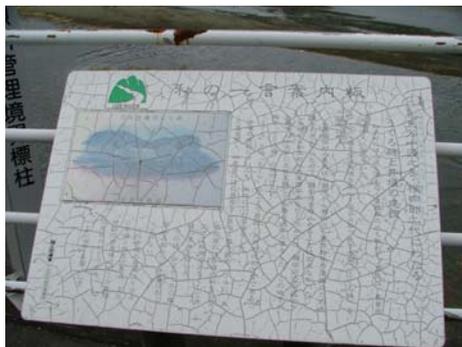


写真-4 ショウジョウトンボ



写真-5 堤防のズレとひび割れ



写真-6 捨てられたゴミ



管理第一課からの意見・感想等

10月のご報告ありがとうございます。
ヒドリガモがこの秋初めて飛来したとのこと、秋の訪れを感じさせられます。
また、次回のモニターだよりを楽しみにしています。